

TOPICS 1

物価高騰支援として水道基本料金を免除します。

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、令和8年7月～12月請求の3期分、菊川市水道基本料金が免除になります。大井上水企業団、掛川市、御前崎市と上水道の契約をされている方は基本料金分の補助金を支給します。

※国県市等の公共を除きます。

検針地区ごとの減免スケジュール

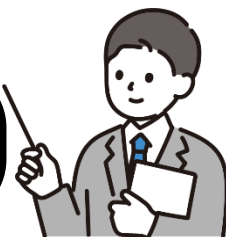
減免期間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A地区					←							
B地区				←								



Q: 基本料金ってなに？手続きが必要なの？

A: 基本料金は水道を使用する量に関係なく掛かる料金です。詳しくは下記をご覧ください。お手続きは「不要」です。



水道料金

基本料金 + 従量料金

免除

免除される基本料金は水道の「口径」によって変わります。

口径mm	水道基本料金
13	2,514円
20	2,514円
25	2,872円
30	4,142円
40	7,363円
50	11,507円
75	25,880円
100	46,021円

免除について、より詳しく知りたい方は市ホームページをご覧ください。



令和8年度水道事業会計予算が議会承認される



▲上平川・下平川地内における
水道管更新工事位置（予定）

令和8年度（令和8年4月1日から令和9年3月31日）の予算案が3月26日に議会で承認されました。

水道事業の維持管理に係る収益的支出予算（3条予算）は、水道料金基本料減免実施、広域化に伴う料金賦課徴収事務等外部委託などの新規事業により、前年度より約1億9,450万円増額の約14億6,320万円となっています。

施設整備や拡張に係る資本的支出予算（4条予算）のうち、工事に係る建設改良費は下水道工事に伴う布設替等の事業により、前年度より約2,100万円増額の約6億150万円となっています。また、既設管の更新などを含め、改良工事を13件行う予定となっています。（左図、工事予定箇所の一部）

ピーファス ピーフォス ピーフォア PFAS、PFOS、PFOAについて知っていますか？

出典：環境省HP

PFASとは、主に炭素とフッ素からなる化学物質で、ペルフルオロアルキル化合物とポリフルオロアルキル化合物の総称です。原子の数の違いなどにより、1万種以上あるとされています。PFASの主な物質としては下記枠内の物質が挙げられます。

いずれも難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質を持つため、予防的な取組方法の考え方に立ち、PFOS・PFOAは、それぞれ2009年・2019年にPOPs条約（ストックホルム条約）対象物質に追加されました。これを受け、日本国内では、PFOS・PFOAをそれぞれ2010年・2021年に「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」（化審法）の第一種特定化学物質に指定し、製造・輸入等を原則禁止しました。

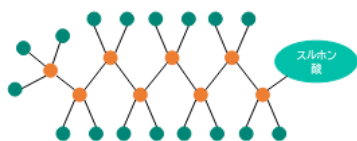
また、菊川市では、水質検査の義務化以前より、水質検査実施時にPFOS・PFOAの検出検査も行っており、現在まで検出はされておられません。

国は、水質基準に関する省令の一部改正及び水道法施行規則の一部改正に基づき、PFOS・PFOAに関する水質検査を義務化させたことから、菊川市においても令和8年度4月から3ヶ月に1回実施します。

PFAS（総称）

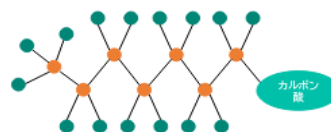
PFOS, PFOAのほか**1万種以上存在！！**

PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）



PFASの一種であるPFOSは、ペルフルオロオクタンスルホン酸からなる有機フッ素化合物で、半導体用反射、金属メッキ処理剤、泡消火薬剤等に使われてきました。

PFOA（ペルフルオロオクタン酸）



PFASの一種であるPFOAは、ペルフルオロオクタン酸からなる有機フッ素化合物で、フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤等に使われてきました。

出典：環境省HP